

1-7. 発注図を開くガイドの機能追加

読み込む外部ファイルデータによって、発注図を開くガイドでファイルを選択すると、図面がどこに有るのか分からない極小サイズのデータや、原図領域から遠く外れているため見えないようなデータの場合、前回までは小さく表示されていましたが、今回からは、自動で拡大します。

また、1 ファイル内に複数の図面が格納されているようなデータの場合、前回まではすべて読み込んでからの作業でしたが、今回からは、予め必要なページのみ選択して配置ができます。

極小データの場合で確認してみましょう。

比較のために、まずは、新規の CAD にファイルをドロップしてみましょう。

【ファイル】 - 【外部ファイルを開く】 で取り込む場合も同様です。画面右上の縮小ボタンをクリックし、デスクトップの DWG データをドロップします。

図面配置設定で小さく表示されたことが確認できます。

【終了】 をクリックし、今度は【発注図を開くガイド】 で取り込んでみましょう。

【ファイル】 - 【発注図を開くガイド】 を選択します。

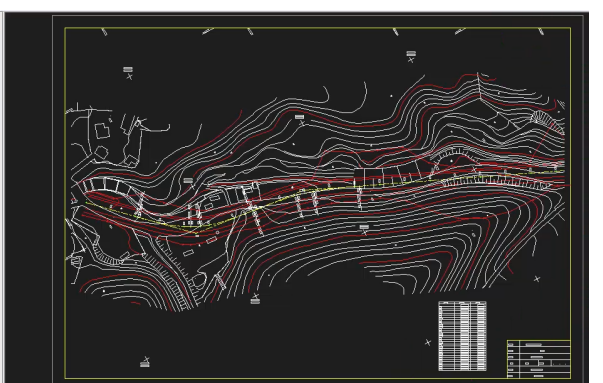
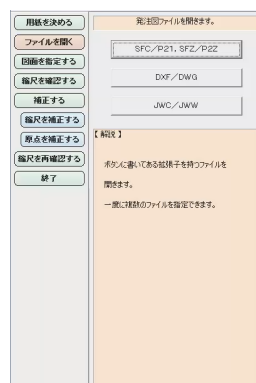
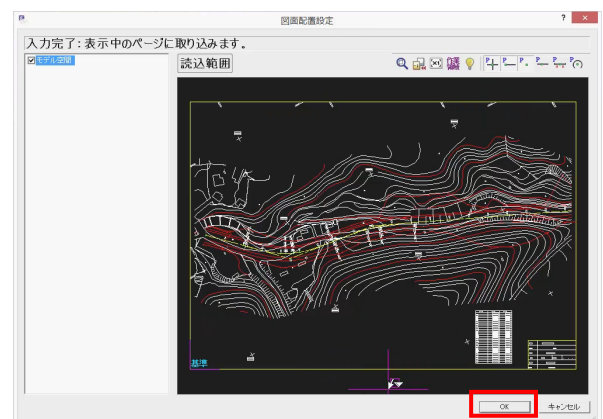
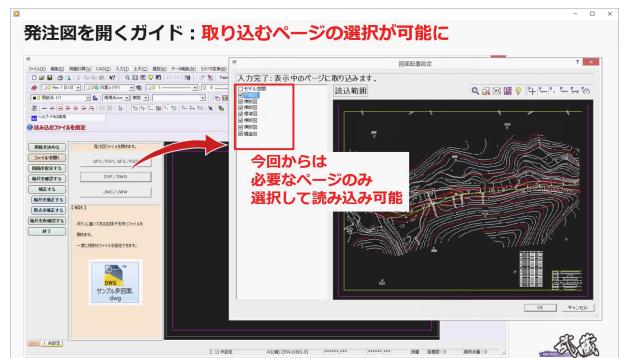
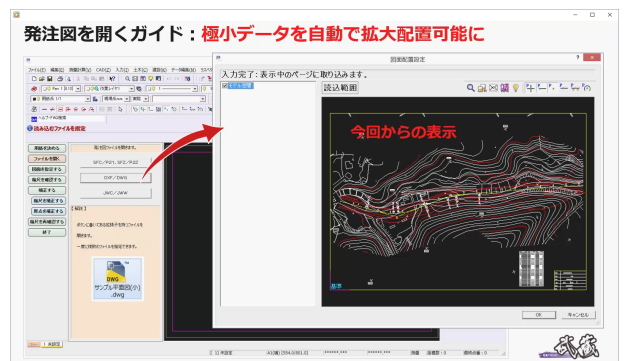
用紙を設定し、【ファイルを開く】 を選択してファイル種類で【DXF/DWG】 をクリックします。

デスクトップの DWG データを選択し、【開く】 をクリックします。

同じデータを選択して取り込みましたが、図面配置設定で、こちらは拡大表示されました。

このように、データが極小でどこにあるのか分からないようなデータの場合も、【発注図を開くガイド】 で選択することで、自動で拡大表示ができます。

【OK】 をクリックし、確認のメッセージも【OK】 をクリックします。CAD 上に図面配置設定画面で見たままの状態 で配置されたことが確認できます。



左のガイドバーに従い、図面に正しい縮尺情報を持たせましょう。

【図面を指定する】選択し、【平面図】をクリックします。
この図面は、縮尺が「1/1」のため選択した用紙サイズに合わせた縮尺に変更します。



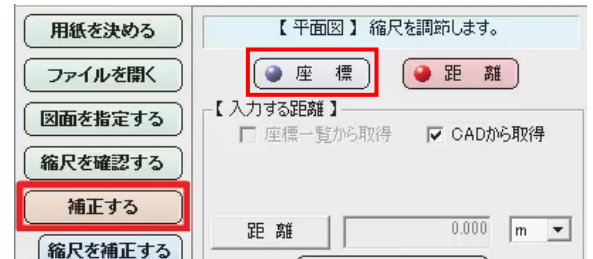
縮尺はあっていないことが分かっている場合は、【縮尺を確認する】は行わず、次の【補正する】を選択します。

操作のヒントが表示されます。

【OK】をクリックします。

座標 2 点で補正するか、距離 2 点で補正するかを選択します。

今回は【座標】をクリックし、操作のヒントは【OK】をクリックします。



図面上の座標値の分かる 2 点を順にクリックします。

今回は、図面上に書かれている座標値をクリックして取得します。

【点 1】をクリックし、1 点目を拡大表示します。

【CAD から取得】が ON であることを確認し、順に X 座標、Y 座標をそれぞれクリックして取得します。

【点 2】をクリックし、2 点目を拡大表示します。

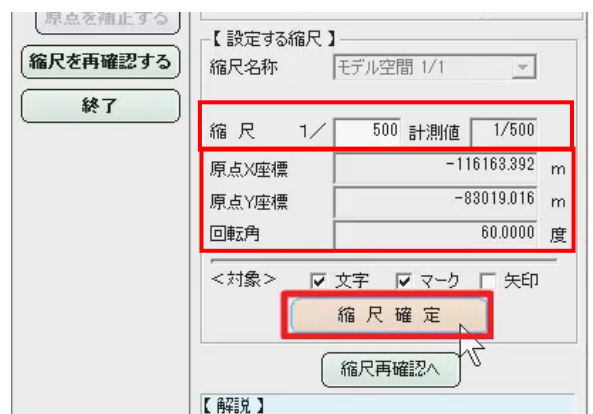
同様に、X 座標、Y 座標をそれぞれクリックして取得します。

2 点の XY 座標が入力できたことを確認し、【座標確定】をクリックします。



クリックした 2 点と座標値から縮尺が逆算で求まり、図面の原点座標や回転角も表示されます。

【縮尺確定】をクリックします。



メッセージは【OK】をクリックします。

縮尺が補正計算で求めた「1/500」になったことが確認できます。

【終了】をクリックします。

